

平成 24 年度 幸手市のごみ量



普通乗用車の重量が
1 t ぐらいだよ！

ごみ減量化および資源リサイクルは、市民のみなさんのご協力なしではできません。

「未来のためにできること」を考えていただき、「混ぜればごみ 分ければ資源」を合言葉に、引き続きみなさんのご協力をお願いします。

問合せ 環境課 ☎(48) 0331・FAX(48) 2226

— ごみ減量化のお願い —

ごみを処分するためには電力を消費します。

今年の夏も電力需要削減のため、ごみの減量化にご協力ください。

▼どうやって処理するの？

▼市全体のごみ排出量は 16,115 t

ごみの種類	平成 24年度	1日あたりの 排出量	平成 23年度
みなさんの家から出たごみ (収集および直接搬入)	13,809t	38t	13,946t
燃やせるごみ	8,801t	24t	8,878t
燃やせないごみ 危険・有害ごみ	761t	2t	787t
粗大ごみ	654t	2t	630t
資源物	3,593t	10t	3,651t
お店などから出たごみ (運搬委託および直接搬入)	2,306t	6t	2,232t
燃やせるごみ	2,216t	6t	2,140t
燃やせないごみ 危険・有害ごみ	19t	52kg	19t
粗大ごみ	37t	101kg	25t
資源物	34t	93kg	48t
排出量	16,115t	44t	16,178t

ごみの種類	平成 24年度	1日あたりの 処理量	平成 23年度
燃やせるごみは焼却処理 (杉戸町環境センター内)	11,432t	31t	11,391t
みなさんの家から出た燃やせるごみ	8,801t	24t	8,878t
お店などから出た燃やせるごみ	2,216t	6t	2,140t
木くず・ふとん・リサイクル可燃残さ	415t	1t	373t
資源物・有価物は処理先へ売却	3,567t	10t	3,708t
鉄・アルミ	354t	970kg	353t
びん	355t	973kg	370t
缶	154t	422kg	160t
ペットボトル	190t	521kg	197t
その他プラ	708t	2t	795t
紙・布 (新聞紙・雑誌・ダンボール・牛乳パック・布類)	1,806t	5t	1,833t
燃やせないごみや粗大ごみの処理は？	1,116t	3t	1,079t
有害ごみ (処理委託)	9t	25kg	10t
乾電池 蛍光管	4t	11kg	5t
破碎処理や選別・処理委託 ※一部有価物(鉄・アルミ)は売却。不 燃残さや可燃残さ焼却灰は最終処分 場へ。可燃残さは処理委託しています。	1,103t	3t	1,064t

夏の温暖化対策 キャンペーンにご協力を



冷房の使用などで、電力を
始めとしたエネルギー使用量
が増える夏。この夏は「賢く」
エネルギーの「ダイエツト」に
取り組んでみませんか？

夏のライフスタイル実践

実施期間 10月31日(木)まで

○冷房時の室温を28度に設定
し、グリーンカーテンで日
差しを防ぐなど、涼しく過
ごす工夫をしましょう。

○オフィスではノーネクタイ、
ノー上着の軽装で執務をし、
部分消灯や待機電力カット
にも取り組みましょう。

夏のエコライフDAY

実施期間 7月7日(日)～14日(日)

※小・中学校、高校は7月7日(日)

取組内容 「みんなで1日環

境のことを考えて行動する
日」と決め、エコライフD
AYに挑戦

対象 小学生以上の人

参加方法

①市役所や市内公共施設で
配布しているチェックシー

トを入手

②チェックシートの「エコラ
イフ項目」に取り組む

③取り組んだ結果をチェック
シートに記入

④チェックシートを市役所や
市内公共施設に設置された
回収箱に投函

※小・中学校、高校は各学校
単位で配布・回収

※市HP(<http://www.city.satte.lg.jp/>)、県温暖化対策課
HP(<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ecolifeday.html>)
からも参加できます。

家庭の電気・ガス ダイエツトコンテスト

7月・8月の2か月間、節電・
節ガスを実践し、電気やガス
の検針表を応募用紙に貼り付
けてご応募ください。

上位の家庭には、素敵な賞
品のプレゼントのほか、抽選
で賞品が当たるチャンスもあ
ります。

※応募用紙は、市役所、市内
各公共施設で配布

問合せ 環境課 ☎(48) 0333
1・FAX(48) 2226



節水にご協力ください

水は、私たちの生命を維持するために必要不可欠な資源です。

水需要も最盛期を迎え、各地で水不足が心配される季節となりました。みなさんのご家庭でも、一人ひとりが節水を心がけ、限りある資源である水を上手に使いましょう。

問合せ 水道管理課 ☎(48) 0050・FAX(48) 0120

水不足(渇水)により予想される影響

水道水を送り出す圧力を下げる減圧給水、夜間の断水などを実施する場合があります。

《断水時の影響》

- 家事をする時間の大幅な制限
- 消火活動や医療活動への影響
- 入浴・洗濯・食生活への影響
- 衛生状態の悪化による食中毒などの発生
- プール、公園への給水停止

渇水時の影響を最小限にするためには
日ごろの節水が最も有効な手段です

水の事故にご注意を！

海や川へレジャーに行く機会が増える夏は、水の事故が増える季節でもあります。水の事故に十分注意しましょう。また、遊水地(調節池)は立ち入り禁止区域です。釣りや水遊びなどのために立ち入るのは絶対にやめましょう。

問合せ 道路河川課 ☎(43) 1111 内線 555・FAX(42) 9115

水の上手な使い方

ちょっとした心がけでたくさんの水が節約できます。各ご家庭の状況に応じて、いろいろ工夫して上手に水を使いましょう。

《節水のポイント》

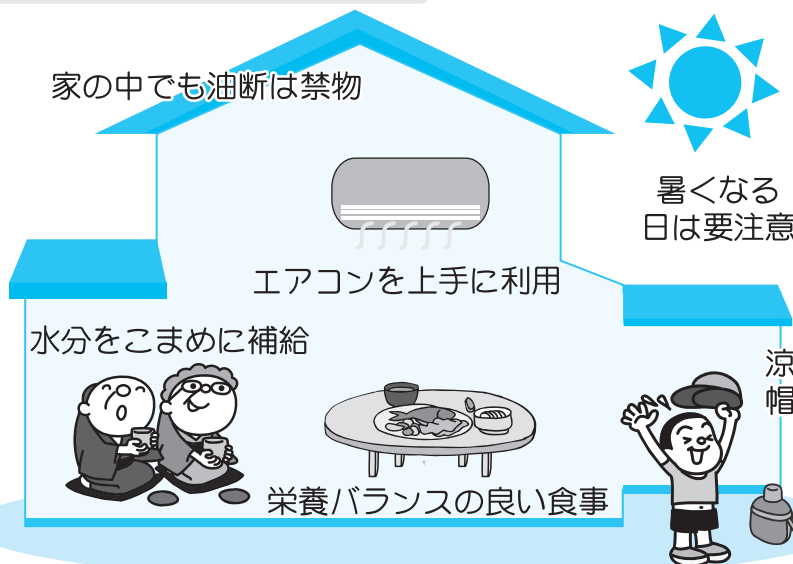
- お風呂の残り湯は、洗濯・拭き掃除・洗車・植木の散水に利用し、汚れが目立たないお湯は、もう一度沸かして再利用しましょう。
- シャワーの流しっぱなしはやめましょう。シャワーを使うより浴槽にためて使ったほうが節水になります。
- お米のとぎ汁などは、まき水に利用したり、植木への散水などに再利用しましょう。食器や調理器の油分は紙で拭いてから洗うと、かなりの水が節約できます。
- 水道使用量を前回の使用量と比べて、どれだけの節水効果があったか確認してみましょう。

必要以上の水を使わないことが
ポイントです

熱中症に気をつけましょう

熱中症予防のポイント

家の中でも油断は禁物



エアコンを上手に利用

水分をこまめに補給

栄養バランスの良い食事

暑くなる
日は要注意

涼しい服装で
帽子や日傘を使用

適度に休憩

熱中症の発症は、7月～8月がピークになります。熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

また、身体の調子が悪いと感じたら、涼しいところへ避難し、体を冷やすなどの処置を早めに受けましょう。※予防方法などの詳細については、本紙16・17ページをご覧ください。

問合せ 健康増進課
☎(42) 8421・FAX(42) 2130